

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	令和5年度第3回河内長野市上下水道事業経営懇談会
2 開催日時	令和6年1月9日(火) 午前10時から
3 開催場所	河内長野市役所 602会議室
4 会議の概要	1. 河内長野市上下水道ビジョン中間見直しの改定案について(最終)
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0人
7 問い合わせ先	(担当課名) 上下水道部経営総務課企画財務係 (内線632)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

令和5年度第3回河内長野市上下水道事業経営懇談会議事録

開催日 令和6年1月9日 火曜日
午前10時00分から午前11時45分まで
開催場所 河内長野市役所602会議室
出席委員 笠原委員 武田委員 水上委員
越仲委員 中田委員 黒田委員

案件1. 「河内長野市上下水道ビジョン中間見直しの改定案について」

※該当資料4、5、6-1、6-2、6-3

【委員】

資料4 河内長野市上下水道ビジョン中間見直し3ページで上水道の研修時間が未達であるが、その理由が書かれていないので、記述してほしい。

【市】

新型コロナ対策に伴う研修の中止等があったため、その旨追記する。

【委員】

資料5 概要版3ページで下水道普及率の94.8%が流域関連公共下水道の普及率と読み取られかねないため、記載位置を変更してはどうか。

また、概要版3ページでは汚水管の延長が417kmとなっており、資料6-3下水道編のP184では416kmとなっているがどちらが正しいのか。

【市】

前段については、下水道普及率が94.8%であるとの記載を第2段落に変更する。
後段については少数点以下の処理を統一し、どちらも417kmとする。

【委員】

資料5 概要版4ページ、5ページについて将来像との関係がわかるよう、将来像を示す安全、強靱などの文言を追記する方が良いのではないかと。

【市】

追記を検討する。

【委員】

資料5概要版5ページの課題の一番下の「流域下水道維持管理負担金の費用負担方法の見直し」は、既に負担方法が確定したのではないか。

【市】

減価償却費の負担方法については今年度で確定しているため、削除する方向で検討する。

【委員】

資料5概要版5ページの流域下水道維持管理負担金の記述を削除する場合、下水道編の関連部分も確認してほしい。

【市】

該当箇所が無いか確認する。

【委員】

資料6-2ビジョン（上水道編）78ページ、79ページの資本的収支について、前回ビジョンでは資金残高となっていた箇所が補填財源残高に変更されているのはなぜか。

【市】

改めて回答する。

→現行ビジョンの「資金残高」は、「流動資産－流動負債(H26以降企業債除く)－固定負債(引当金)－流動資産(貯蔵品)」から算出しており、後の財政計画で示す補填財源残高とは金額も名称も整合していないため、今回の中間見直しで統一を図ることとした。

【委員】

資料6-2ビジョン（上水道編）99ページの水需要の予測について、有収率は10ヶ年の最大値である95%を採用としている一方で、P134の有収率の目標値は92.4%のみであるのはなぜか。

【市】

改めて回答する。

→漏水量の低減に努めた結果、有収率が向上しており、今回の中間見直しにおいて目標値を95%に変更することとした。

【委員】

資料6-2ビジョン（上水道編）114ページのスケジュールについて、企業団との統合協議をしたが、統合を見送ったとしている。統合に向けた検討が行われないのであれば、何かコメントを入れた方が良いのではないか。

【市】

これまでの協議は令和6年度の統合に向けた協議であり、協議の結果、令和6年度における統合は一旦見送った。これで企業団との統合がなくなったわけではなく、今後も引き続き検討、協議を継続する。

【委員】

長期的に企業団との統合の意向を持っているのであれば、そういった表現を加えてはどうか。

【市】

「令和6年度の統合は見送り」などの表現を検討する。

【委員】

資料6-2ビジョン（上水道編）137ページの令和4年度の供給単価について、基本料金の減免による影響があったことを書いた方が良いのではないか。

【市】

追記する。

【委員】

資料6-2ビジョン（上水道編）141ページの間接検証の下から4行目に「水道損益勘定職員」とあるが、文言が専門的なので説明を加える方がよいと思われる。他にも間接検証で専門的な文言があるか確認してほしい。

【市】

説明を追加する。

【委員】

資料6-2ビジョン（上水道編）150 ページの3つの財政計画のグラフは3つ目のグラフ（図6-4）を1番上に置いた方が良いのではないかと。下水道事業も同様である。

【市】

修正する。

【委員】

資料6-2ビジョン（上水道編）157 ページの見出しに「(3) 投資以外の経費の積算」とあるが、「投資以外の経費」という表現がわかりにくいため、「経費の積算」としてはどうか。下水道事業も同様である。

【市】

「経費の精算」に修正する。

【委員】

資料6-3ビジョン（下水道編）209 ページにおいて56歳以上の職員が退職した場合、技術職員の確保はどうしていくのか。P258では技術職員率の目標値を60%としている。

【市】

定年延長が65歳となり、60歳ですぐに退職するわけではなくなったものの、募集しても採用につながらないことが全庁的な問題となっており、今後できるだけ技術職員の確保に努めていきたい。

【委員】

資料6-3ビジョン（下水道編）238 ページの技術職員の確保は概ね計画どおりとあるが、今後を見据えると実際は厳しい状況であり実情を伝える必要があるのではないかと。

【市】

若手職員の不在などについて、検証内容の修正を検討する。

【委員】

資料6-3ビジョン（下水道編）251 ページの浸水・道路冠水の発生件数について目標値は0であるが、令和4年度で1件発生している。目標値を達成しているといえるか。

【市】

目標値を達成しているとはいえないので、検証内容を修正する。

【委員】

資料6-3ビジョン（下水道編）260 ページのアウトソーシングについて、目標値の見直し理由がここだけ書かれていないため記載した方がよいのではないか。

【市】

目標値の見直し理由について、検証内容を追記する。

【委員】

資料6-3ビジョン（下水道編）283 ページの収益的収支について、2028年度には令和4年度のおよそ10%減少する見込みとあるが、231 ページでは12%となっているがどちらが正しいのか。

【市】

前者について12%に修正する。

【委員】

パブリックコメント実施の際にはどの資料を用いるのか。

【市】

資料5 上下水道ビジョン（概要版）と資料6 河内長野市上下水道ビジョン（共通編）（上水道編）（下水道編）を予定している。

【委員】

令和6年12月に総務省より発出された公債費負担を適正な水準の料金収入等で賄える程度に平準化できるための資本費平準化債の拡充について、ビジョンにどのように記載するのか。

【市】

現時点において詳細が分からないため、今回の見直しで具体的に記載することは難しい。「国・府の支援策等で未確定な部分があるため、今後も国・府の動向を注視しつつ、経営の健全化に向けて引き続き検討していく」旨を追記する。